

ゆめ せ っ け い ず
夢 の 設 計 図

やりたい仕事や実現したい夢 **漫画家** その仕事や夢を選んだ理由 **絵を描くのが好きだから、漫画が好きだから、話の構成を考えるのが好きだから。**

その仕事や夢を実現するために必要な条件(資格など)や力、お金はなんだろう **(漫画)執筆 集中力、読書力をつける。大学に入るための受験勉強。マンガで絵の具(画材)を使い方を身に付けること。独自の発想力面白さを見つける。ページごとに金額が入る。忍耐力 画力**

年齢	必要な能力を身につけるためにやること
12歳 小学校	友達や先生と沢山会話するスペースをとり観たりして動き方を見つける。絵を描き始める。好きなことに専念してみたりする。
13歳 15歳 中学校	イラストを描く。漫画を読む。美術を学んだりするために、高校へ進ぶ。その進学するための受験勉強。受験勉強で集中力を養い上げる。量的な表現方法を国語で学ぶ。
16歳 18歳 高校	イラストを描く。芸大、美大、専門学校へ進学するための受験勉強。物語を読む。読書力、画力を上げる。影のつき方や体の構造に興味を持ち調べる。漫画を教わる。読書や漫画に力をつける。
19歳 22歳 専門学校	1人で美術の勉強。Webサイトに掲載してみたりする。マンガやアニメーター練習とする。暇な時間にイラストを描く。
23歳	デジタルやアナログ等両方で描く。
24歳	作品と応募。持ち込みをする。出版社のコンクールに応募。
25-30歳	アシスタントにつく。漫画家の手伝いをし、腕を磨く。作品を練習し上げる。
35歳	30歳で漫画家になる。作品を更にネットアップしていく。興味をもち漫画制作の職に就いていく。
	代表作が沢山のの人に認知されるプロ漫画家になり、未来の子供に引き継いでいく。

仕事以外であなたが大人になったらやってみたいこと、実現したいこと **楽器を弾けるようになる。**

将来なりたい私の夢

前橋市立荒牧小学校 六年 宮田 茉佳

私が「漫画家になりたい。」そう思ったのは、絵を描くことの楽しさや物語の内容を伝える面白さ、というのを知った頃だ。

最初は、漫画というものに興味が無かった。だが、姉に「漫画ってすごい面白いよ。これ読まない？」と言われたことが漫画家になりたいという夢に繋がった。仕方なく漫画を手に取り、渋々表紙をめくった。「あれ?」私は気付いた。漫画は、それぞれの作者が描く世界観、絵柄も全く違う。そして何より、話の展開が予想外になる面白さに吸い込まれていく。段々と漫画への興味が広がった。それが、漫画家になりたいと思った、最初の一步だ。

そんな、自分だけの想像力で、より多くの人へ笑顔を届ける「漫画家」という職業に就くためには、沢山の人が交流を続ける必要がある。まずやるべきことは、沢山の人と交流

し、コミュニケーション力をつけたり、本を読む、映画を観るなどして、独創力をつける方法をしっかりと研究する。その後、研究したことを身に付けること。そして徐々に、漫画を描くことに慣れることが必要だ。イラストを描いたり、物語を書いてみたりすることで、漫画というものに近づく事ができる。また、集中力という仕事で最も重要な条件がある。集中力とはすぐに身に付けることができないものだ。集中力はただ集中するだけではない。休憩を狭んで、やる気を持続させることで仕事に専念していける。大抵の条件は揃った。

最後の課題は、これ等の力を発揮し、連載を目指すことだ。誰を、どの様に感じさせるか。読者の立場になってみる。自分だけの世界観を認めてもらうことを目標にし、漫画を描き続ける。アシスタントとして憧れ

の漫画家と共同制作をし、数々の漫画を観てもらいたい。その漫画を多くの読者に認知され、漫画家になる。

漫画家になったことで、ある程度の人気を得られるように「一生懸命」を心に刻み、更にプロを目指していく。最初は批判だらけだった作品が「凄いい」や「面白い」という言葉で段々増えていく。徐々に輝くプロ漫画家になる。自分でも自分の作品を愛せる漫画家となり、多数の代表作を出す。そして、未来の子供達に、「漫画家」という職を知ってもらうこと、漫画に興味をもってもらうことを更なる目標とできる漫画家。それが、「将来なりたい私の夢」なのだ。

*こちらは、小学生『夢をかなえる』作文コンクールの「ライフプランシート」としても使えます。